

* * *

次号の特集予告

286 巻 14 号 (2023 年 9 月 30 日発行)

【第 5 土曜特集】

内視鏡医学のすべて——各領域における診断・治療の進歩

企画：田中 信治 (日本消化器内視鏡学会理事長／広島大学大学院医系科学研究科内視鏡医学)

坂井 義治 (日本内視鏡外科学会理事長／大阪赤十字病院院長)

大須賀 穰 (日本産科婦人科内視鏡学会理事長／東京大学大学院医学系研究科産婦人科学教室)

川村 雅文 (日本呼吸器内視鏡学会理事長／帝京大学医学部附属病院呼吸器外科)

上田 恭敬 (日本心臓血管内視鏡学会理事長／国立病院機構大阪医療センター循環器内科)

木内 博之 (日本神経内視鏡学会理事長／山梨大学医学部脳神経外科学講座)

武中 篤 (日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会理事長／鳥取大学医学部腎泌尿器学分野)

- ・内視鏡技術は日進月歩で発展を続けており、3D 内視鏡、内視鏡手術支援ロボット、共焦点レーザー内視鏡 (CLE)、AI による内視鏡診断支援システムなど続々と新しい技術が開発されている。
- ・さらに、5G に代表される通信技術の進歩により、遠隔地からの内視鏡検査が現実のものとなった。これにより医療格差の解消や、患者の負担軽減につながると期待されている。
- ・本特集では、消化器内科、消化器外科、産科婦人科、呼吸器、循環器、神経、泌尿器の 7 つの領域に分け、最新の内視鏡技術の進歩と展望を総合的にまとめている。日々の診療に活用いただければ幸いである。